

伊深 まちづくり協議会 だより

第 52 号

・地域のトピックス	1
・活動グループの動き	
下本郷おやじ) さつま芋掘り	1
稲作体験) 伊深小で五平餅づくり	2
里山) 糠洞橋上で桜並木せん定	2
・名所・旧跡シリーズ 23 ト雲寺	2

伊深まち協 HP アドレス <http://ibukamachi.com>

地域の トピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

11.5 (日) 第 43 回伊深町文化祭が開かれました

秋晴れの好天のもと、第 43 回目となる伊深町文化祭が小学校体育館ほかで開かれ、展示の部、即売の部、ステージ発表の部でそれぞれ力作や熱演が発表されました。体育館前では毎年にごわううどん・味ご飯、みたらしのほか果物、バザー品、焼き芋などの即売が行われ、午後からはステージ上で、保育園児の歌や小学生児童の合唱、ピアノ演奏、独唱、カラオケ、情熱的なダンスなどが繰り広げられました。また、展示の部では、手芸、写真、フラワーアレンジメント、盆栽などの

作品のほか、保育園・小学生・学童などの力作も展示され、訪れた人は興味深そうに見入っていました。



各活動 グループ の動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。

下本郷おやじの会グループ / 11.1 (水) にさつまいもの収穫を指導

「下本郷おやじの会」では、11.1 (水)、ほくぶ保育園児・伊深小児童を対象に、さつまいもの収穫体験を指導しました。場所は消防詰所東側の休耕田で、会員やまち協委員らが掘りやすくしたうねから芋を探し出し、長くのびた茎を引っ張りながら芋を掘り出していました。なかには土の中からみみずを見つけ、遊び出す子もいました。

この日掘り上げた芋は保育園・小学校へそれぞれ持ち帰られ、後日焼き芋や収穫祭で楽しむことになっています。



稲作体験支援グループ / 11.22 (水)、伊深小 5 年生と五平餅づくり

稲作体験支援グループでは、11.22 (水)、稲作体験授業のしめくくりとして、先に収穫したコシヒカリを使った五平餅づくりに協力しました。今年の 5 年生は 5 人と少人数でしたが、収穫のときと同様にチームワークよく、約 150 個の五平餅をテキパキと焼き上げていきました。できあがった五平餅は全校の児童や先生たちに配られ、さっそくおいしそうにほおぼる姿が見られました。



里山活動グループ / 11.26 (日)、糠洞橋上流の桜並木せん定を実施

里山活動グループでは、11.26 (日)、糠洞自治会関係者、まち協委員、有志らと協力し、糠洞橋上流の桜並木せん定を実施しました。ここは 1 昨年約半分をせん定し、残りの約 20 本を今回実施したものです。作業は昨年から高所作業車を導入したため、これまでは難しかった高所や川側に伸びた枝のせん定も行いやすくなり、参加者たちは手分けして「天狗巣」や枯損枝の伐採・せん定・薬剤塗布・伐採した枝の処分などを行いました。



伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第 23 回 ぼくうんじ ト雲寺 (上切)



また、本堂の西には宗派を問わずどなたでも永代にわたってご先祖を祀れるよう「嶺月観音(れいげつかんのん)永代供養塔」が建立されています。

なお、現本堂は平成 22 年に檀信徒および現住職らの総力によって開創四百年事業として全面的に改築されたものです。

前回紹介した寺洞の龍安寺の手前に、もうひとつ寺があり、名を神竜山ト雲寺といいます。関ヶ原の合戦の翌年(1601年)に、加治田の龍福寺から分かれ、臨済宗妙心寺派の寺として創建され、初めのころはト雲庵と呼ばれていましたが、現在は正眼寺の四隣寺のひとつに数えられています。開山は龍福寺の開山でもある大徹法源禅師とされています。その後途絶えがちのなかにも十数代の住職が受け継いでこられ、中でも今から二代前の三井大心老師は岐阜市の名刹瑞龍寺の住職として招かれたほどでした。



嶺月観音永代供養塔



標柱あり

